

保護者として、
子供にどのような言葉を
かけていますか？

友だちから「お揃いの筆箱を一緒に買おうよ」と誘われたんだよね…



いよいよ学校生活が始まりましたね。
子供たちは、学校でも、休日や夏休み（休校中）も、友だちづきあいを大切にしているようです。特に、高学年になってくると友だちとの絆を気にするようになってきますよね。



A君は、何て言ったの？
B君は？、Cさんは？

いつもはよく気があうけど、
それぞれ考え方があるもんね。
時には、パスしてもいいんじゃない？



A君は、今の使っているのでいいって。
B君は、違うのが欲しいって。
Cさんは、買ってほしいよ。
ぼくはどちらかというとなしかな。

このような伝え方にしてみようと思うのですが、
みなさんはどのように伝えますか？

友だちが困っていたら、 お金かしてもいいんだよね…



今年は短そうですが、夏休みが近づきましたね。
「給付金ってあったんでしょ。おこづかいもらえるのかな」なんて声もちらほら。
「うちの子は大丈夫！」と信じたいものです。
お金の使い方、どのように伝えていますか？



学年が上がるにつれて、毎月のおこづかいやお年玉など子供が使えるお金も多くなっていくと思います。

お子さんがどのような場面でお金を使っているか、みなさん把握していますか？

お金を持って遊びに行くと、トラブルの原因にもなります。友だち同士で気軽に言った『お菓子買ってよ』『お釣りちょうだい』といった言葉が相手には大きな負担になる場合もあります。また、子供だけで買い物に行くと、思わぬ犯罪に巻き込まれるケースもあります。

お金の使い方についてお子さんと保護者の間でルールを決めて、正しい使い方ができるよう夏休み前にご家族で確認してみたいかがでしょうか？

PTA本部でも話し合っ、 まじめに子供とお金のルールを考えてみました。

- ・子供同士の遊びにお金を持っていかない。
- ・友だちとの間でお金の貸し借りをしない。
- ・お菓子や飲み物は家から持っていく。その時は、保護者に持っていくことを事前に話す。
- ・友だちからお菓子や飲み物をもらったら、少しの量でも保護者に話す。
- ・おこづかい帳をつけて、お金の使い方を家族で考える。
- ・お金を持っていく時は、何にいくら使うか保護者と相談する。
- ・月に一回、お金の残高を保護者と一緒にチェックする。



【参考にした情報】

『子供たちにどう教える？お金の使い方』学研キッズネット
<https://kids.gakken.co.jp/parents/learning/coco-20160401/>

『知るぽると』金融広報中央委員会

<https://www.shiruporuto.jp/public/family/training/>

「お金のしつけ」の中の「おかねのね」「おこづかい帳のつくりかた」はオススメです。